



あそぶ・まなぶ・語る



周防大島町社会教育施設連携協議会 〒742-2512 山口県大島郡周防大島町平野 417-11 宮本第一記念館内 TEL (0820) 78-2514

強豪校集い

「サッカーの島」

盛り上がる!!



高校サッカーフェスティバルが1月6日～8日の3日間開催されました。西日本の8県から12校が集まり、熱く激しい戦いが繰り広げられました。6日、7日は長浦スポーツ海浜スクエアと周防大島町陸上競技場でリーグ戦を行い、選手達は寒さを吹き飛ばす熱いプレーを披露。8日の最終日は順位決定戦が行われました。決勝戦は創成館と九州



第4回サザン・セト大島 周防大島町長杯

国際大学付が対戦。結果は、先制したあと最後まで攻める姿勢を崩さなかった創成館が3対1で勝利し、4回目の出場にして初戴冠を飾りました。商船会場で行われた、Global Islandリーグでは、大島商船高等専門学校が2連覇を果たしました。皆様ご観戦ご声援ありがとうございました。

順位 優勝 創成館（長崎）、準優勝 九州国際大付属（福岡）、3位 瀬戸内（広島）、4位 聖光（山口）、5位 大社（島根）、6位 松山工業（愛媛）、7位 柳ヶ浦（大分）、8位 小野（兵庫県）

第22回 サザン・セト大島

少年サッカー大会

高校サッカーに引き続き、陸上競技場も含め、町内各地で少年サッカー大会を開催します。春の

到来を告げる小学生の明るく元気なプレーに皆さんのご声援をお願いします。

日程…3月29日（木）・30日（金）・31日（土）

会場…周防大島町陸上競技場、長浦スポーツ海浜スクエア、大島商船高専、橘ウインドパーク

※決勝戦は31日14時半より陸上競技場にて開始。

詳細は町ホームページに掲載。

我が町の スゴイ人



日移 本民 八資 料館

広島県坂町から来られた団体のお客様が口を揃えて「我が町には、ハワイに渡った畝さんという人がおるんよ。トンネルを作る為にハワイに行っ



たんだよ」と教えてくれました。早速、お客様と一緒に本館の検索システムで調べると、「明治三十九年三月二十九日 渡航者名簿」に名前がありました。昔、この町には畑に行くのも急な坂道を登らなくてはならず、不便な峠道を歩く日々で「畝為吉」は十三歳の時、呉線に開通したトンネルを見て「これだ！我が町にもトンネルを作ろう」と決心、資金を作る為十六歳でハワイに渡りました。約四十年働き続け、財をなして帰国。すぐに全私財を投じて自らも作業に加わり、一年四ヶ月をかけ、念願のトンネルを完成。地域の人々は「便利になった、楽になった」と大いに喜んだといえます。「上条トンネル」というそうです（写真）。

ふるさとへの貢献者として語り継がれた英雄なのです。当資料館の元家主、福元長右衛門氏もその一人。小松の志駄岸神社の百五段の石段の寄

進など、地域の為に尽力されています。周防大島町内には志を胸に海を渡り古里の発展に尽くされた方が沢山おられます。皆さんご存じですか？

古文書

解説講座終了

1月13日に今年度の古文書解説講座の最終講義を行いました。約3年15回にわたり「月窓之巻」という史料を読みました。これは、松山藩士の奥平貞幹が、第二次長州征討後の交渉過程を明治になつて回顧した史料です。奥平が藩主の内命を受けて交渉にあつた段階から、幕府の意向を踏まえた藩としての方針が確立し、長州藩との交渉も重臣クラスが出席して三田尻で会談が行われ軌道に乗った段階に進み、しかし不手際から奥平ら担当者が処分されたというのが、古文書の主な内容です。巻末には奥平の思いも綴られています。



落難を回避する思いで交渉役を引き受け、時にはいわれない疑念や恨みを買った、最終的には謹慎隠居処分まで受けたと述懐する奥平ですが、『論語』から引用した「不怨天不咎人」を記し、その運命を怨まず人をも責めないといっています。紆余曲折を経ながらも、松山藩は取り潰されることなく存続し廃藩置県を迎えます。そのため藩の危機を回避でき、本来の役を全うしたことへの安堵が記述からもうかがえます。

参加者からは引き続き幕末維新期の史料を読みたい、他の関連史料とで比較検討したいなどの意見もあり、講座を通して古文書解説への意欲を深め、裾野を広げることができました。

文化の伝承

八幡生涯のむら

久賀の 明治維新展 開催中



明治維新150年にあたり、幕末・明治期の大島の歴史を紹介する展示。昨年寄贈された四境の役の襖絵、さらに江戸期の久賀の絵図も展示します。この機会に郷土の歴史について学んでいただければ幸いです。

期間…1月16日(火)～3月11日(日)

9時～16時/入場無料

休館日…月曜(祝日の場合はその翌日)

場所…八幡生涯学習のむら商いの間

問い合わせ…0820・72・2601

宮本常一農漁村採訪録 ついに20巻に

宮本常一館
本念

開館以来、刊行を続けている『農漁村採訪録』が、今年度の「佐渡調査ノート(2)」で20巻を数えます。宮本常一が全国各地で旅した聞き書き、資料筆写の自筆ノートを翻刻して刊行。『宮本常一著作集』の編者でもある田村善次郎先生が編集を担当され、たくさんの翻刻ボランティアの皆さんにもご協力をいただいています。既刊には、対馬、大分県の姫島、愛媛県の忽那諸島、

さらに山口県内では周南諸島や萩の見島などがあり、文字に残らない古老たちの声を今日に伝えていきます。膨大な著作を残した宮本の調査記録であり、宮本民俗学の奥深さをいっそう味わうことができます。詳細はHPで紹介しております。頒価:500～1300円(頁数により異なります)



問い合わせ…0820・78・2514

イベントひろば

周防大島町陸上競技場・総合体育館

▼大好評!季節のヨーガ教室

「春クラス」募集中

春は何かを始めるにはぴったりの季節。健康な毎日のため、季節に適應する心とカラダづくりを目指しましょう。

講師…三浦さおり(日本ヨーガ禅道友会所属)

場所…周防大島町総合体育館アリーナ

定員…20名(先着順)

参加料…1期7回分 4000円(保険料込・初回時徴収)

持物…ヨガマット(またはバスタオル)、アイマスク

日程…4月9日～5月28日までの毎週月曜日(全7回) 19時30分～20時45分
申し込み…0820・78・2512

八幡生涯学習のむら

▼陶芸作品展

今年も陶芸定期教室講師と生徒による作品展を開催します。体験コーナーでは異なる色を何層にも重ねて塗り、カンナで文様を作りながら深さを変えて削ることで、複雑な色彩の文様となる器を製作できます。また、来場者にはフクロウのマグネットを記念品にお配りします。



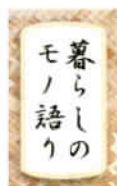
期間…3月23日(金)～3月25日(日)

9時～16時(最終日は15時まで)/入場無料

場所…八幡生涯学習のむらふれあいの間・商いの間

関連企画…器づくり体験(体験料500円)

問い合わせ…0820・72・2601



暮らしの モノ語り 欄間

日本建築様式のひとつで天井と鴨居(かもし)との間に、格子や透かし彫りの板などを取り付けた部分。採光・通風などのためのもので、装飾を兼ねる(『三省堂大辞林』)。欄間の歴史をみると、京都宇治の平等院鳳凰堂(1053年)など平安時代にその祖形がみられ、当初は単純な縦横の格子だったのが、桃山時代以降、技巧を凝らした豪華な彫刻を取り入れたものが流行した。

近年は住宅形態の変化から一般的でなくなっている。

さて、日本ハワイ移民資料館の広い玄関を上がり受付を済ませ、順路に従い三間続きの畳の間に目を向けると、豪華な欄間に目を奪われる。ここはお寺か神社かと見間違えほどの素晴らしい三枚ものである。これは門井鳳雲作の「竹林七賢」と「松竹梅」である。

鳳雲を調べてまたびっくり。門井家は、周防大島の出身で、代々続いた宮大工の家系で、この島や四国に数多くの社寺を建てた。鳳雲は、明治40年、16歳で京都の美校で木彫仏像の制作を学び腕を上げた。大島と京都を行き来しながら長年の修行によって身につけた技能で、社寺彫刻、欄間彫刻、仏像・神像の彫刻など幅広く手掛けている。門井家の「わが父の記録」には、鳳雲が手掛けた100件超の社寺など山口県中・東部を中心としたお寺や神社、個人の家の軒の記録が残っている。そのうちの一軒がハワイ移民館・元の家主・福元長右衛門さん宅である。

「記録」には次のように記されている。「福元長右衛門様宅の御座敷欄間上等檜材にて造る竹林七賢人三枚 花鳥もの三枚」

一度是非、名工の匠をご覧ください。

